

(新)海洋環境モニタリング多様化推進費

10百万円(0百万円)

地球環境局環境保全対策課

## 1. 事業の概要

知床における油にまみれた海鳥の大量漂着、中国吉林省での化学工場爆発による海洋汚染の懸念のような事故的な事案に関する対応を強化するため、衛星画像の活用の可能性の検討、我が国近海における潮流及び水塊移動速度に係る最新の知見の整理等により、海洋環境モニタリングの多様化を検討する。また、想定される事案に対処するための関係研究機関等との連携に係る体制について、整理・検討する。

## 2. 事業計画

海洋環境モニタリングの多様化(平成19年度～21年度)

- ・衛星画像の活用による油流出に係る情報把握の可能性の検討
- ・日本近海における潮流及び水塊移動速度に係る最新の知見の整理
- ・諸外国での類似案件に係るモニタリングについての情報収集
- ・漂流ゴミの海中での状況把握手法の検討等

事案発生時の対応体制の検討・構築(平成19年度～21年度)

- ・学術調査等の蓄積がある研究機関等との情報共有、科学的検討に関する連携体制の検討・整備

## 3. 施策の効果

モニタリングシステムの多様化、関係機関との連携の強化により、突発的な事故等に対して、適時、適切な情報を収集、提供する能力を強化する。

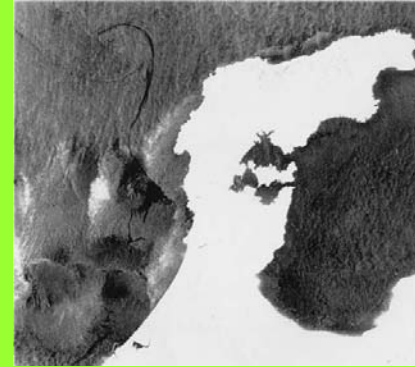
# 海洋環境モニタリングの多様化に係る検討調査

新たな油汚染

タイムリーなデータ取得

(1) 衛星リモートセンシングによる  
流出源検出システムの構築

- ・人工衛星による広域同時観測
- ・合成開口レーダー (SAR) を用いた  
昼夜・天候を問わない観測
- ・流出油の自動判別
- ・画像データベースを活用した遡及的な解析



新たな越境汚染

効率的なデータ取得

新たな汚染問題への対応

国際的枠組みの有効活用

我が国近海における潮流等の最新の知見の整理

諸外国での類似案件に係るモニタリングの情報収集、

想定される事案発生について、国立環境研究所などとの情報共有と科学的検討

関係機関との連携に係る体制について整理・検討

突発的な油流出事故に対し、タイムリーかつ遡及的な汚染の把握が可能  
越境汚染に対し、バックグラウンドデータの効率的な取得、未知の汚染への  
対応、国際的な枠組みを活用した環境監視が可能